

平成 26 年度広島県教育賞受賞者

○個人

※年齢は、平成 27 年 2 月 13 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、
「後に続く方への励ましやアドバイス」、「今後の本県教育への思い」など）

区分	氏 名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功 績 等
学校教育	やま もと まさ てる 山 本 雅 照 (60 歳)	庄原市立東城小学校 校長 (庄原市)	文部科学省や県の指定を受け、義務教育 9 年間を見据えた道徳教育の推進に貢献した。また、特別支援教育の視点を生かしたきめ細かな指導や支援を行う研究をすすめる、特別支援教育の推進に成果を上げた。
	メッセージ	この度、このような身に余る賞をいただくことができましたのも、これまで支えていただいた関係者のおかげであり、皆様と共にいただいた賞であると思っています。 38 年間、この広島県の教育に携わってこられたことに心から感謝しています。 この表彰の榮譽に恥じぬよう、今後も「教育の不易と流行」を大事にしながら、「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県」の創造に微力を尽くしたいと思います。	
	おぎ たに きと し 萩 谷 智 志 (60 歳)	廿日市市立宮内小学校 校長 (廿日市市)	文部科学省や県の指定を受け、キャリア教育の推進、人権意識を基盤とした思考力・判断力を育てる授業づくりの研究、小中学校の一貫した生徒指導体制の構築など多方面にわたり貢献した。平成 19 年度には「キャリア教育優良教育委員会・学校等文部科学大臣表彰」を受賞した。
	メッセージ	この度は、榮譽ある賞をいただき誠に光栄に思うとともに恐縮しております。 「学んでよかった、学ばせてよかった」と思っていただけの学校教育の創造に、微力ながら取り組んでまいりましたが、これまで多くの方々とのありがたい“ご縁”によって、今の自分があるものと思っています。“教育は国づくりの根幹”を成します。次代の教育を担う若い方々には、教育の崇高な営みに熱い自負の念を持って努めていただくことを期待しております。	
	もり のぶ よし 森 信 吉 (59 歳)	広島市立瀬野川中学校 校長 (広島市)	広島県公立中学校会会長等の要職を歴任し、豊富な見識と実践を生かし中学校教育の充実と発展に貢献した。さらに、確かな学力の定着と、豊かな人間性の育成を目指した指導方法や評価方法の工夫改善に取組み、成果を上げた。
	メッセージ	この度、栄えある賞を賜るとともに、会長の役職を終えることができますのも、教育委員会の皆様をはじめとして多くの皆様方のおかげです。 また、学校は、教頭先生のもと全教職員の生徒への深い愛情と、PTA、地域の皆様のご支援のおかげですばらしいものとなりました。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。 今後は、この賞を糧にして少しでも本県教育界に貢献できるよう頑張りたいと思っています。	
	かわ きま とみ お 川 崎 富 男 (59 歳)	福山市立東中学校 校長 (福山市)	組織的な生徒指導体制を構築し、生徒の問題行動や不登校生徒を大幅に減少させるとともに、行事や部活動を通じた学校の活性化に尽力し、大きな成果を上げた。さらに、地域・保護者との連携や協力を得ながら地域が一体となって学校を変革していく風土をつくり上げた。
	メッセージ	この度は、栄えある賞を賜り大変光栄に思いますとともに恐縮しています。今日まで支えていただきました多くの方々のお蔭であり、共にいただいた賞であると思っています。心より感謝申し上げます。 これまで教職員と意識を共有しながら学校教育を推進する中で、生徒の意欲あふれる姿や成長していく姿に接することができ、大変幸せに感じています。 微力ながら、今後も広島県教育の充実発展に力を尽くしていきたいと思っています。	

平成 26 年度広島県教育賞受賞者

○個人

※年齢は、平成 27 年 2 月 13 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、
「後に続く方への励ましやアドバイス」、「今後の本県教育への思い」など）

区分	氏 名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功 績 等
学 校 教 育	おん ざわ ひろ お 隠 澤 浩 雄 (60 歳)	呉三津田高等学校 校長 (呉市)	呉三津田高等学校長として、トップリーダーハイスクールの取組を推進し、生徒の学習意欲を高める組織的な進路指導体制を充実させ、継続して優れた進学実績を上げた。また、公立高等学校長協会管理運営委員長として不祥事防止の取組を先頭に立って推進した。
	メッセージ	お世話になった全ての皆様に感謝しつつ、生徒諸君につぎの言葉を送ります。 【Aspire 五年後十年後の自分のあるべき姿を想像しそれに向けて高い『志』を持ち、Believe 自分はそのことを実現できると『信』じ、Curious 学問をはじめあらゆることに興味関心を持ち続けることによって、知・徳・体をバランスよく『育』み、人としての土台を大きくし、Do 目標に向かって『挑』んでいく。& Enjoy『愉』しむことを忘れないで】	
地 域 文 化	いわ きま ひろし 岩 崎 博 (88 歳)	福山文化連盟理事 (福山市)	長年にわたり福山市文化財保護審議会委員、会長として、福山市内の文化財保護に大きく貢献した。 また、福山市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員として古建築の保存、伝統的町並みの維持に努め、財団設立当初から務めたふくやま芸術文化財団理事や、福山文化連盟理事等を歴任し、様々な分野で市民の文化向上に尽力した。
	メッセージ	この度は思いがけぬ御褒賞に与り恐縮しております。 元々福山の駅は城の堀内に、駅前広場も城堀を埋めてできたもので、斜めに直線で三菱銀行、天満屋に至る広い一本道の両側地下には、かつて箕島から一路続いた外堀に至る入江の石壁が続き、天下橋や木綿橋辺りにも船がたくさん入っていた風景など、知る人はもう少なくなりました。当時がこうした拡大期だっただけに、軒の街並み保存、やがて県博物館となる草戸千軒遺跡など古文化財に触れる事業計画が少なくなく、私たち文化財保護審議会は多くの案件を抱えて懸命だったことを思い出します。	
社 会 教 育	かわ にし てつ のり 川 西 哲 憲 (65 歳)	廿日市市社会教育委員 (廿日市市)	長年にわたり、廿日市市社会教育委員として活動し、また、PTA 役員や公民館運営にも携わるなど、地域における社会教育の振興に広く貢献した。
	メッセージ	この度は、平成 26 年度広島県教育賞を賜り関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。 頼まれた事は断らず自分の出来ることは全てやる精神で、県、市、地域での P T A、学校、福祉、奉仕活動等をやってきました。若い時には悩むことも多く、諸先輩のご指導、同僚の励ましや家族の支えで活動出来ましたが、今後は原点に戻り、遠くを眺めながら足元を固め広げて行く事が私の役目だと思っております。	
	おく もと みちこ 奥 本 美智子 (72 歳)	尾道市社会教育委員 (尾道市)	長年にわたり、尾道市社会教育委員として活動し、男女共同参画条例の制定に向けて女性団体と連携した取組みを行うなど、地域における社会教育の振興に貢献した。
メッセージ	この度思いがけず広島県教育賞を頂戴し、厚くお礼申し上げます。 社会教育委員に就任して 20 年になります。 男女共同参画条例づくりの学習会、放課後子ども教室への指導、高齢者向け「ふれあいサロン」企画運営など先輩や仲間と協力して楽しく活動してきました。 今後は社会教育委員として、氾濫する情報を自分自身のものとして正確に理解し、学習を深めて地域貢献できるよう努めたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。		

平成 26 年度広島県教育賞受賞者

○個人

※年齢は、平成 27 年 2 月 13 日現在

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、
「後に続く方への励ましやアドバイス」、「今後の本県教育への思い」など）

区分	氏 名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功 績 等
体育・スポーツ	<small>ふくしまよしあき</small> 福島芳房 (55 歳)	広島県ボクシング連盟 副理事長 (広島市)	広島県及び広島市のボクシング連盟の役員として、全日本選手権大会や国民体育大会等の大会運営に積極的に携わるとともに、強化合宿やボクシング教室などを実施し、競技力向上及び普及に尽力している。 国民体育大会では、長年にわたり少年男子の監督を歴任し、多くの優勝者を輩出するなど高い指導力を発揮している。
	メッセージ		
	この度は、栄えある賞をいただき、誠にありがとうございました。ひとえに、ご指導くださった諸先輩、共に活動してきた同僚、選手たち、多くの方々のお蔭であり、心より感謝申し上げます。 今後も、広島県のボクシング競技の普及発展・競技力向上のために、微力ではありますが、尽力していきたいと思っております。		

○団体

※下段は、受賞者からのメッセージ（「これまで取り組まれてきたことへの思いや現在のお気持ち」、
「後に続く方への励ましやアドバイス」、「今後の本県教育への思い」など）

区分	氏 名	功 績 等
地域文化	<small>ほんじはながさおどりほぞんかい</small> 本地花笠踊り保存会 (代表 大下正則) (北広島町)	広島県無形民俗文化財である「花笠おどり」の保存及びその伝承に尽力し、多彩な民俗芸能を通じた広島県の豊かさと活力の創造に寄与することが顕著である。 また、平成 13 年からは地元の小学校で小学校 1 年生から 4 年生約 80 名を対象に伝承活動を行い、後継者育成にも大きく貢献している。
	メッセージ	本地花笠踊りは 420 年位前より伝わっていますが、明治以降昭和 30 年代まで途絶えていました。古老と若者の努力により掘り起した 8 曲を伝承しています。我々団員は止めることは簡単ですが、次へつなげるために努力しています。 伝承の一環として、本地小学校児童へ地元の民俗芸能の花笠踊り伝承授業を通して「子ども花笠踊り」として 12 年目になります。地域のイベント等で発表し、地域の御理解と若者の伝承意欲を高めております。

個人 9 名 1 団体